



第25号 発行所 近畿大学農学部緑友会 広報・編集委員会 編集委員長 福田 泰久 631-8505 奈良市中町3327-204 TEL: 0742 (43) 1511 http://www.nara.kindai.ac.jp/

自然に会員どうしの つながりが広がる

緑友会会長 松田 克礼



緑友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、皆様方には平素から緑友会に格別なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。緑友会の課題のひとつに「会員どうしのつながりを広げる」という目標があります。その取り組みとして、ホームページの開設に向けて検討を進めています。ホームページを用いて農学部近況や緑友会の行事予定などを発信すれば、会員の方々にそれらは伝わると思っています。ただし、それにはWEBサイトをみてもらえれば、という大きな前提があります。また、サイトを訪れても定期的に更新されなければ、やがて見てもらえなくなりそうです。ホームページの開設は、緑友会報の代わりになっても、「会員どうしのつながりを広げる」ことにはあまり期待できません。そこで、会員どうしの親睦を目的として、昨年度、緑友会ゴルフ愛好会を立ち上げました。会長は元会長の村上先生、幹

事は現副会長の西原氏にお願ひしました。令和元年9月に第1回緑友会コンペを開催し、参加者の方々にさらにお知り合いにお声がけ頂き、令和2年3月の第2回はより盛大に行うことができました。広げたくても広がらない状態がある一方、広がらないのに広がるものがあります。それは「良い意味でのクラスター」です。他にも愛好会のような、

農学研究科の近況

大学院農学研究科長 川崎 努



同窓会のような、女子会のようなクラスターは、すでに存在していると思います。それぞれのグループが次のグループを生み出し、それが広がれば「自然に会員どうしのつながりが広がる」ことに期待できます。現在の情報伝達手段は緑友会報に記載することのみですが、もうすぐホームページが開設されます。グループ内やグループ間、会員どうしの情報交換の場としてホームページをご利用して頂けますようお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

農学部緑友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。会員の皆様は、おかげさまで御礼申し上げます。緑友会からご提供頂いております学位論文の優秀発表賞を表彰する緑友会賞も定着し、大学院生にとって研究活動における重要なモチベーションになっています。

本年度は、農学研究科には博士前期課程153名、博士後期課程12名が在籍し、昨年度より大幅に博士前期課程の大学院生数が増加いたしました。動かし学ぶ必要があり、作物や動物を育ててもらう必要があります。緊急事態宣言の解除から、3密を避ける工夫をし、3・4年生や大学院生が研究室で実験を徐々に進めるようにしてまいりました。これからは、1・2年生の実験・実習、更にクラブ活動を再開すべく努力してまいります。

新型コロナウイルス後の農学部の進形を模索しながら、農学部がより力強く発展するように引き続き努力してまいります。近畿大学創立百周年記念事業の中のひとつとしてサイバークャンパス化の構想も入っております。今後とも変りない卒業生の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

だが、非常に残念なことに、コロナウイルス感染症の影響により、現在、研究活動が停止されており、コロナウイルス感染症が早く収束し、大学院生がまた活気に溢れた研究活動に邁進できることを願うばかりです。

さて、近畿大学農学部・農学研究科におきましては、SDGs（持続可能な開発目標）に関して、昨年度より、さらに意識して研究を推進しています。特に、一昨年度に発足した近畿大学アグリ技術革新研究所を中心に、産官学連携や企業との共同研究が促進されています。その効果もあり、大学院生による素晴らしい研究成果が多くのメディアに取り上げられ、さらに大学院生や教員が各学会等において表彰されております。これからも、大学院生を中心に、注目される研究を展開し、皆様へ良いニュースをお届けしたいと思います。

何とか新型コロナのピンチをチャンスに

農学部長 江口 充



令和2年度が始まるや否や、新型コロナウイルス問題が社会全体を覆いました。緑友会の皆様におかれましては、厳しい社会情勢のなか、お元気で過ごしてのことと拝察いたします。近畿大学は、5月の連休明けからすべての授業をオンライン授業に切り替えました。3月月末からオンライン授業の準備を始め、5月の連休明けから

学生ポータルサイトをタウンセンターことなくオンライン授業を開始しました。まずは一安心です。オンライン授業の準備のために教員は相当のエネルギーを使います。ただ、教室での対面授業に比べると、各学生と教員との距離が近くなったという感もあります。事実、オンライン授業の方が質問をし易い、授業に集中できるという学生の声もあります。今回のピンチをチャンスと捉え、5G時代を見据えたサイバークャンパス化を加速する好機にできないかと考えております。

とはいえ、農学部です。やはり実験・実習で実際に手を

新棟まもなく竣工!

事務長 伊藤 博樹



農学部緑友会会員の皆様には、日頃から大変お世話になっております。皆様卒業された近畿大学は2020年度入学生試験においても志願者数日本一となり、7年連続で達成しました。世界大学ランキング2020におきまして

も、西日本の私立総合大学で1位となり、国内だけでなく世界的にも本学の教育研究力等が評価されているところで、2025年には創立100周年を迎え、様々な計画も発表されていますが、学園にとって特に大きなプロジェクトは医学部・近畿大病院の泉北ニュータウン移転です。まさに名実ともに優れた総合大学として発展しております。図書館増床改修・実験室改修・演習室改修・キャンパス内街灯増設・コンビニエンスストア増床改修工事等、多くの事業を積極的に進めるべく

準備を進めております。農学部の教育研究環境がますます進展し、学生が誇りに思える、そして真の意味で世の中の役に立つ大学となるよう整備してまいります。皆様が母校にお越しになられたら、キャンパス風景の変化に驚かれることだろうと思います。新型コロナウイルスがある程度の落ち着きが見えたら、是非とも母校に帰ってきてください。

最後に、農学部多目的教育棟は大学創立100周年記念事業の一つになっております。是非とも本事業の趣旨にご賛同いただき、この記念事業にご寄附いただきます様、切にお願い申し上げます。

令和元年度 緑友会賞一覧

博士後期課程		
専攻	氏名	論文題目
応用生命化学専攻 (最優秀賞)	宇高 芳美	高反応性天然物ゼルンボンを利用した新規化合物の構築とそれらの機能性評価 (Construction and bioactivity evaluation of novel compounds from zerumbone as a key example of natural materials-related diversity-oriented synthesis)
水産学専攻 (優秀賞)	青木 隆一郎	養殖カンパチにおける性ステロイドホルモン濃度による性別判別法の開発
博士前期課程		
専攻	氏名	論文題目
農業生産科学専攻	春名 啓介	イネとアイスプラントの接触混植による塩-湛水ストレス緩和効果
	稲田 隆人	イネ熱帯ジャポニカ品種Oiranにおける自律性転移因子Pingの発現抑制機構の解析
水産学専攻	Miller Jonas Raphael	Exploration of alternative protein sources in the development of a sustainable diet for Japanese white trevally Pseudocaranx dentex juveniles (シマアジ稚魚用資料における代替タンパク質源に関する研究)
	有田 蒔実子	沖永良部島で産卵するアカウミガメの潜水行動の細分化
応用生命化学専攻	二木 邦浩	糸状菌が産生する殺線虫剤パラヘルクアミドの活性発現機構
	星野 健斗	血管壁の脆弱化を抑制する食品機能成分の探索と作用機序の解明
環境管理学専攻	澤ノ 潤	抗菌活性を有するフラノナフトキノンの合成と評価
	池田 隆	在来テントウムシが有する侵入初期外来種ムネアカオクロテントウに対する生物抵抗性
バイオサイエンス専攻	中居 由依奈	イネのパターン誘導免疫を制御するSROファミリーの機能解析
	野澤 昂太郎	シロイヌナズナにおけるbHLH11転写因子を介した鉄取り込み抑制機構の解明



令和2年7月現在



当学科では、2018年度に発足した花卉園芸学研究室が本格的に始動しました。近畿圏の私立大学では、花卉園芸学を看板に掲げる研究室は他にはなく、今年度からはフ

ラワービジネス演習を開始します。教員全員が取り組むアグリビジネスマイスターコースでは、40名の現4年生が資格を取得し、累計の取得者数は221名となりました。同コースでは、農業生産に加え、加工や流通・販売までをトータルに学修するためのプログラムを展開しています。また、平群町役場をはじめとした外部機関と連携し、日本酒やジェラート、各種スイーツ等の産学官連携商品を毎年開発・販売しています。今後とも緑友会の皆様のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。



農産生産科学科
学科長
飯嶋 盛雄

学科の近況



水産学
学科長
石橋 泰典

当学科では、長年にわたってウナギの種苗生産研究、教育等にご尽力された太田博巳教授が本年3月末に退職されました。一方、後任には、水産増殖学研究室に亀甲武志准教授をお迎えしました。亀甲

准教授は琵琶湖のホンモロコ、アユ、イワナ等の栽培漁業を中心に活発な研究をされており、今後も先進的な増殖産殖研究を展開することで活躍が期待されています。新型コロナウイルスで大学教育、研究も過去に経験のない大きな影響を受けていますが、それに負けないように、クロマガテに続く斬新的な研究と新しい教育の充実に積極的に取り組んでいきます。卒業生の皆様には、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願



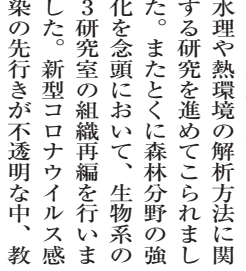
応用生命化学科
学科長
白坂 憲章

当学科では、生物制御化学研究室の森本正則先生が、この4月より教授に昇任されました。研究活動では、食品微生物学研究室の福田泰久講師が日本きのこ学会奨励賞を受賞され、多くの大学院生が学会発表において優秀発表賞などを受賞するなど、学科の研究業績が高く評価されました。また、「県内学生が創る奈良の未来事業」公開コンペで当学科の学生を中心としたグループが最優秀賞を受賞し、柿ワインの酒粕を用いた県独自の特産品開発・商品化事業が今年度より開始される見込みとなっています。今後も教員一丸となって研究・教育に邁進してまいりますので、卒業生の皆様からのためまぬご支援をいただきますよう、よろしくお願



食品栄養学
学科長
米谷 俊

当学科では、本年度から、近藤高史教授（食品化学研究室）、大森麻依子契約助手、関谷美喜子契約助手、尾島朋子契約助手の4名の先生をお迎えしました。一方、3月末に、渡辺克美特任教授、蒲尚子契約助手、赤田菜佑子契約助手、矢野えりか契約助手が退職されました。第34回管理栄養士国家試験には、81名が受験し、全員合格を果たしました（全国の管理栄養士養成課程（新卒）の平均合格率は92.4%）。当学科では、食



環境管理科学
学科長
鶴田 格

当学科では、本年度から、近藤高史教授（食品化学研究室）、大森麻依子契約助手、関谷美喜子契約助手、尾島朋子契約助手の4名の先生をお迎えしました。一方、3月末に、渡辺克美特任教授、蒲尚子契約助手、赤田菜佑子契約助手、矢野えりか契約助手が退職されました。第34回管理栄養士国家試験には、81名が受験し、全員合格を果たしました（全国の管理栄養士養成課程（新卒）の平均合格率は92.4%）。当学科では、食



当学科では、当面、定年退職する教員がおらず、生物機能科学科としての教育・研究



生物機能科学科
学科長
篠原 美紀

を充実させるための基礎固めの時間となるはずでした。しかし、世界的な新型コロナウイルスの状況は一変、新しく迎えた124名の新生も、未だにモニター越しでしか会っていません。しかし一方で、前期授業がメディア授業となったことから、半強制的とはいえ、ICTをフル活用する機会を得ました。使ってみると、通常の対面授業とは違った、まるで目の前に学生がいて質問を直接投げかけてくるような「超リアル



学科研究室・教員

農産生産科学科

- 作物学 (飯嶋 盛雄・山根 浩二・廣岡 義博)
- 育種学 (種坂 英次・柴山 拓司)
- 園芸植物学 (神崎 真哉・小枝 壮太)

- 植物感染制御工学 (松田 克礼・野々村 照雄)
- 昆虫学 (香取 郁夫・米谷 衣代)
- 農業経営経済学 (増田 忠義・大石 卓史)
- 花卉園芸学 (細川 宗孝・林 孝洋)

水産学

- 水産増殖学 (澤田 好史・石橋 泰典・亀甲 武志)
- 水産生物学 (小林 徹・小林 靖尚・渡邊 俊)
- 水族環境学 (江口 充・永田 恵里奈・谷口 亮人)

- 漁業生産システム (光永 靖・鳥澤 眞介)
- 水産利用学 (塚正 泰之・安藤 正史・福田 隆志)
- 海棲哺乳類学 (酒井 麻衣)
- 水産経済学 (多田 稔)

応用生命化学科

- 応用微生物学 (上垣 浩一・倉田 淳志)
- 食品微生物学 (白坂 憲章・福田 泰久)
- 応用細胞生物学 (森山 達哉・財満 信宏)

- 生物制御化学 (松田 一彦・森本 正則・伊原 誠)
- 生命資源化学 (飯田 彰・澤邊 昭義・山下 光明)
- 森林生物化学 (板倉 修司・梅澤 究)
- 学 科 共 通 (吉岡 佐知子)

食品栄養学

- 栄養教育 (川西 正子・明神 千穂)
- 臨床栄養学 (木戸 慎介)
- 公衆栄養学 (伊藤 龍生・森島 真幸)

- 給食経営管理 (富田 圭子)
- 生体機能学 (上嶋 繁)
- 栄養機能学 (米谷 俊・竹森 久美子)
- 食品化学 (近藤 高史)

環境管理科学

- 水圏生態学 (北川 忠生・河内 香織・松沼 瑞樹)
- 生体系保全 (早坂 大亮・ジン タナゴナン)
- 環境化学 (城嶋 透・森 美穂)

- 森林資源学 (松本 光朗・井上 昭夫・澤島 拓夫)
- 国際開発・環境学 (松野 裕・木村 匡臣)
- 環境政策学 (鶴田 格・前潟 光弘)

生物機能科学科

- 植物分子生理学 (田茂井 政宏・佐古 香織)
- 植物分子遺伝学 (川崎 努・山口 公志)
- 動物発生工学 (加藤 容子・谷 哲弥・岡村 大治)

- 生命情報工学 (武田 徹)
- 動物分子遺伝学 (佐渡 敬)
- 分子生物学 (篠原 美紀・加藤 明宣・松壽 健一郎)
- 生物有機化学 (北山 隆・大沼 貴之・柏崎 玄伍)

教養・教育基礎部門

- 木村 正則・赤羽 仁志・西垣 佐理・ロバート ジョーン シェリダン

太字：新研究室、新任

新任の挨拶

水産学科 水産増殖学研究室
准教授 亀甲 武志

令和2年度4月1日付で水産学科水産増殖学研究室に准教授として着任いたしました亀甲武志と申します。私は京都大学大学院農学研究科を修了後、滋賀県に就職して主に琵琶湖の水産の試験研究や県庁での水産行政に携わり、今年度より近畿大学に参りました。

私の専門は「淡水増殖学」で、おもしろく、釣りの対象になる淡水魚を効果的に増やす方法や持続的に利用する研究を展開しております。これまでの研究過程で、魚を増やす答えは現場にあるという信念のもと、川の源流から琵琶湖の最深部まで繰り出して調査に打ち込んでまいりました。近畿大学ではこれまでの淡水魚に加えて、新たな場所での新たな魚も対象にした研究に取り組んでいきたいと考えております。

食品栄養学科 食品化学研究室
教授 近藤 高史

令和2年4月1日付で、食品栄養学科食品化学研究室に教授として着任いたしました近藤高史(たかし)と申します。本学の建学の精神である「実学教育と人格の陶冶」に共感し、食品企業から転職してきました。元々の専門は薬理学ですが、医学部生理学教室で食行動に関する行動科学・脳科学を9年間学び、京都大学

農学研究科では3年間准教授としてお世話になりました。前職では、企業研究者として、だしやうま味のおいしさ・機能性に関する研究を行ってまいりました。

近畿大学では、企業人としての経験を活かし、真の実力をもった社会で活躍できる管理栄養士の育成を目指します。まずは教育と研究の両面から食品・栄養の面白さを伝えることから始めます。興味をもつことが、自ら考え主体的に動くための大きなエネルギー源となります。その目標実現のため、講義などの資料作りをどうしたらよいか悩む日々が続いています。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

食品栄養学科 契約助手
大森麻依子

本年度4月より食品栄養学科に契約助手として着任いたしました。大森麻依子と申します。私は大学卒業後に香川県の病院で管理栄養士として勤務し、その後、同志社女子大学、梅花女子大学の2大学で管理栄養士養成課程の実習助手として従事させていただきました。この度はご縁をいただき近畿大学にお世話になる事となり、出身地である奈良県の大学で力添えができておます。諸々で力不足を実感することも多く、現在は学

食品栄養学科 契約助手
関谷美喜子

令和2年度4月より、契約助手として着任いたしました。関谷美喜子と申します。私は、京都女子大学家政学部食品栄養学科を卒業後、女子栄養大学大学院栄養学研究科に進学し、修士を取得しました。その後、岡山県のくらしき作陽

大学で実験実習助手として5年間勤務した後、この度近畿大学へお世話になることになりました。

学生時代は、子どもの食育や、拒食症や過食症といった摂食障害患者の食物への渴望について研究をしていました。食へることは一生続く、人間にとつて欠かすことができない行動ですが、それに対して悩みを持っている人がいます。少しでも楽しく食へることが出来るようにするためには、どういうことが必要なのか、今後深めていきたいと考えています。

食品栄養学科 契約助手
尾島 朋子

今年3月までの4年間、大学生として通った近畿大学に4月より就職致しました。学生とは立場が変わり、通い慣れた場所ですが、新たな気持ちで毎日を過ごしております。私が大学生生活で得た楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったことなど様々な経験を、学生と関わっていく中で伝え、サポートをしたいと思っております。また、勉学に打ち込みやすい自然豊かな恵まれた環境の中で、スポーツ栄養学を極めたいという原

点を忘れず、自分のレベルアップのため、研究に一生懸命取り組んでいく所存でございます。今はまだ目の前の事に精一杯で、至らない点は多々ございますが、先生方に教えていただきながら、教員として、そして研究員として精進してまいります。どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

環境管理学科 国際開発環境学研究室
講師 木村 匡臣

令和2年4月より、環境管理学科に講師として着任いたしました木村匡臣と申します。東京大学大学院農学生命科学研究科にて博士の学位を取得後、同じく東京大学での特任研究員、特任助教、助教を経験いたしました。令和元年度には、内閣府にて総合科学技術・イノベーション会議の事務局における政策調査員を兼任し、教育・研究の現場を一步引いた視点から眺める経験もさせていただきました。

専門分野は農業土木、特に農業に関する水利用・水環境を対象とする農業水工学(かんがい排水工学)で、水田地域の熱環境や、中山間地域における持続的な治水・利水戦略、海外における水環境を対象にした調査・研究開発を、学際性を意識して進めております。

食品栄養学科 契約助手
太田 博巳

本年3月末日をもって18年間お世話になった農学部を定年退職いたしました。農学部の教職員の皆様、そして緑友会の皆様には大変お世話になりました。心から感謝を申し上げます。

前水産学科 教授
退任のご挨拶
太田 博巳

緑友会会員の皆様にはますます清栄のこととお慶び申し上げます。私は24年間お世話になり、この3月をもって退職させていただきます。4月からは甲南女子大学医療栄養学部(管理栄養士養成課程)に勤務しております。近畿大学での経験を活かし教育、研究に携わって参りたいと思っております。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

前食品栄養学科 教授
退任のご挨拶
渡辺 克美

緑友会会員の皆様にはますます清栄のこととお慶び申し上げます。私は24年間お世話になり、この3月をもって退職させていただきます。4月からは甲南女子大学医療栄養学部(管理栄養士養成課程)に勤務しております。近畿大学での経験を活かし教育、研究に携わって参りたいと思っております。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

前食品栄養学科 契約助手
退任のご挨拶
赤田茉佑子

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。令和2年3月をもちまして食品栄養学科を退職いたしました。私は、平成27年に近畿大学農学部食品栄養学科を卒業後、社会人経験を経て平成29年に契約助手として着任いたしました。在職中、農学部

前環境管理学科 教授
退任のご挨拶
八丁 信正

1994年4月より、当初は国際資源管理学科(農業開発研究室)、改組後は環境管理学科(国際開発環境学研究室)において、26年間に渡り勤務させていただきました。その間、諸先輩、同僚、卒業生など多くの方々に大変お世話になりました。この場を借りて、深くお礼申し上げます。退職近くになってコロナ問題が発生し、退職後に計画していた世界1周や、半年日本・半年海外の生活は当面休止状態です。また、退職前に申請していた、カンボジアでのJICA草の根技術支援事業が採択され10月から開始する予定でしたが、これもコロナの関係で少し遅れ込みそうな気配となっております。毎日が日曜日となり、気ままに過ごしておりますが、今のところ畑仕事とランニング、サイクリングが生活のリズムを作っているような状態です。先日は、九州往復サイクリング旅行にも行ってまいりました。

前食品栄養学科 契約助手
退任のご挨拶
矢野えりか

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。2019年10月から半年間、食品栄養学科契約助手として勤務させていただきました。農学部の教職員の皆様には親切にご指導いただき、心より感謝しております。

前食品栄養学科 契約助手
退任のご挨拶
赤田茉佑子

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。令和2年3月をもちまして食品栄養学科を退職いたしました。私は、平成27年に近畿大学農学部食品栄養学科を卒業後、社会人経験を経て平成29年に契約助手として着任いたしました。在職中、農学部

今年3月までの4年間、大学生として通った近畿大学に4月より就職致しました。学生とは立場が変わり、通い慣れた場所ですが、新たな気持ちで毎日を過ごしております。私が大学生生活で得た楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったことなど様々な経験を、学生と関わっていく中で伝え、サポートをしたいと思っております。また、勉学に打ち込みやすい自然豊かな恵まれた環境の中で、スポーツ栄養学を極めたいという原

近畿大学では、持続可能な農業の発展に資する研究開発社会に貢献できるような人材育成に努めてまいりたいと考えております。緑友会の皆さまのご指導を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

最後に申し上げますが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様のお祈りいたします。

私は、管理栄養士という職から長年離れていましたので、仕事に対して不安がありました。しかし、学生と接することで自身の学生時代を思い出し、今の新しい知識を身につけることができたことと刺激的な日々を過ごすことができたこと。短い期間でしたが、多少なりとも学生のサポート

最後に申し上げますが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様のお祈りいたします。

最後に申し上げますが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様のお祈りいたします。

最後に申し上げますが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様のお祈りいたします。

最後に申し上げますが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様のお祈りいたします。

最後に申し上げますが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様のお祈りいたします。



新入生の夢

私の夢

農業生産科学科

和田 昂哉

私はまだはっきりとした夢を持っていませんが、これからの大学生活における目標は持っています。それは自分が本当にしたい事を見つける事です。

高校3年生の頃、どの学部に進学しようか迷っている時に、私は小さい頃から食べる事が大好きで食品が持つ機能性に興味があり、食品開発などが将来出来たら楽しそうだなと思いました。それがきっかけで農学部に進学しようという決心し、近畿大学に入學しました。

また、小学生の頃から音楽を聴くことや、楽器を演奏することがとても大好きで、初めはそれこそ趣味程度のものでしたのですが、段々と音楽関連の仕事に関わりたと思うようになり、現時点では知識や経験があまりに足りません。まずはこれから色んな授業を受けて農学に対する理解を深め、それに並行して、音楽の勉強も自主的に行い、この先の人生において自分が本気で打ち込みたいことをこの大学生活を通して見つけたいです。

将来の夢

水産科学科

石川 碧伊

私の将来の夢は、理科の教員になることです。

近年、持続可能な開発目標(SDGs)が話題になっています。私は17の目標のうち、「2. 飢餓をゼロに」と「14. 海の豊かさを守ろう」に特に

関心を寄せ、これらを解決する手段の一つに養殖があると考えています。水産科学科で「イケスから食卓まで」と言うキヤッチコピーのように環境を守り、食品ロスなどの流通にも目を向けながら養殖から環境・利用までを広く深く学び、自分なりの考えを持ちたいと思っています。

これからの教育ではただ単に教えるだけが教師の役割ではないと考えています。今、直面している環境問題や社会問題などを生徒と一緒に考え、その解決にむけて行動することも求められると考えています。そのためにも、自分が興味を持つ分野の知識をより深める必要があると考え、これから近畿大学での経験を生かして、生徒と一緒に多角的・俯瞰的な視点で、限りある地球を守っていききたいです。



将来の夢

応用生命科学科

森 澄海人

私は近畿大学農学部で農学・化学の視点で物事を学び、卒業後には食品会社で商品開発に携わりたいと考えています。それは、家族の影響や土地柄もあって幼い頃から自然に対して興味を持っていて、それがきっかけだと思います。世界ではこの数十年で人口が爆発的に増加し続け、生活に直結する要素として「食」の需要は更に増すと予想されます。これは長期的社会問題の一つであり、早い解決が待たれています。これが人々の食事を通じて効果的に改善され、更に食品の健康的付加価値が見出されれば、素晴らしい解決策となるでしょう。

化学はある角度では生物、異なる切り口では物理が見えるような、我々の身のまわりの現象に非常に広いかかわっている学問といえます。その点で、化学的な視点を持ち研究を行うことがこの解決に繋がると考えます。

私は、総合大学としての幅広い対応力かつ専門性を兼ね備えた教育課程、様々な研究・実習が行える設備を擁する近畿大学農学部応用生命科学科で知識を身に付けることができることに誇りを感じています。

この環境の中で、大学生としての経験も蓄積しつつ、化

学の視点を持ち科学的問題解決能力を身に付け、社会に用する人材になりたいと思います。



叶えたい夢

食品栄養科学科

清水 杏珠

私がこの食品栄養科学科を選んだのは、高校の化学の実験で研究に興味を持ち、将来食品開発の仕事をしたかったからです。数ある研究の中でもなぜ食品開発をしたのか、価値を見出せれば、素晴らしい解決策となるでしょう。

私は高校生の三年間塾に通っていました。夜遅くまで残って勉強することが多かったため、夜ご飯をコンビニの商品に頼ることがほとんどでした。コンビニの商品を食べ歩いていくうちに、コンビニの飽きさせない工夫にどんどん魅了されていく自分がありました。

この経験から、次は私が新しい食品を作り出す立場になって、手軽さ美味しさを兼ね備えた食品を食卓に届けたいと思うようになりました。

将来の夢

環境管理科学科

品原陽太郎

私は、自然や生き物が好きなので、環境管理科学科に入學しました。現在のところ、私には明確な「将来の夢」がありませんが、山や川、またそこに生息する生き物に関わる仕事に就きたいなと思っています。そのためにも、環境管理科学科では環境管理に関する幅広い知識と技術を身につけたいです。特に、身の回りで生じる環境の変化や問題を多面的に捉え、解決策を提案できるような人間になるべ

く、努力していきます。さらに、これから先ますます国際化が進む社会に対応するべく、語学力の向上に励み、グローバルに活躍する人材をめざします。現在、大学での活動のできない状況にあります。この状況が早く収まり、学校に通えるようになれば、たくさんの人と出会い切磋琢磨し、充実した学生生活を送れるものと楽しみにしています。これからの4年間、今以上の苦悩や困難もあるかと思いますが、それら乗り越えていく中で、明確な「将来の夢」を探し出したいと考えています。

なりたい私

生物機能科学科

酒谷 友香

私の将来の夢はまだしっかりと定まっていません。だからこそ、この近畿大学に入學しました。かねてから、私は生物工学に興味がありました。従来ある生物資源を生かし、社会に貢献できる新技術として応用、発展させるといった商品の改良もしたいです。

食品を通して人々を笑顔にさせるためにこの4年間、将来食品開発に携われるように知識を得て、たくさん学んで生かしていきたいと思っています。しかし、一口にバイオテクノロジーと言ってもその分野は多岐にわたります。そこで自然に開かれた本キャンパスで学び様々な実習や体験を通じることで自分が本当にしたいことが何かを見極めたいと考えています。そして夢中になれる「夢」を見つけ、格物致知の道を極め、たゆまぬ努力で学問に努めたい所存です。まだ何も決められていないということは、同時に何にもなれるということだと私はポジティブに捉えています。この可能性を大事にして初心を忘れることなく4年間を有意義に過ごしていきたいと思っています。

東京駅構内「グランスタ東京」1F
 「養殖魚専門料理店 近畿大学水産研究所 はなれ」
 日本各地で育った「近大生まれ」の養殖魚 美味しくください！

10/1受付開始 ☆発送は11月より

近大本くえ鍋セット (冷凍)
 切り身・アラ(計1kg) ぼんず50g×7袋
 11,550円(消費税込、送料込)
 ※北海道・沖縄は送料別途1,000円加算

好評販売中！
 近大紅白手捕寿司
 近大マグロメンチカツ 12個(冷凍)
 2,592円(消費税込、送料全国一律1,130円)

アーマリン近大ホームページよりお申し込みください

アーマリン近大
<https://www.a-marine.jp/>

「持続可能な水産養殖のための
 種苗認証制度(SCSA認証)」
 を取得しています。

水族館初、
 カニの育ての
 親になります。

0.0000...1%
 のチャレンジ!!

KANI PROJECT
 城崎マリンワールド
 KINOSAKI MARINE WORLD

いのちをつなぐ企業
 株式会社アクアテイメント

aquatainment

06-6955-9681
 info@aquatainment.jp
 代表 松前(西林) 水産科学科2005年卒業

卒業生 だより & 職場紹介

人々の健康のために
農業生産科(令和元年度卒)
稲田 隆人

皆様、ご健勝にてお過ごしでしょうか。私は今、人々の健康を支える仕事をしています。健康と言っても医療分野ではありません。食を通じた人々の心と体を健康にするため奔走しております。

私は2020年に株式会社村上農園に営業職として勤め始めました。「大学院を修了してなぜ営業？研究を続けたいの？村上農園って何の会社？」と多くの友人や先輩に聞かれました。答えは1つです。多くの方を幸せにする方法だと信じたためです。

スルフオラファンをご存知ですか？解毒力や抗酸化力を高める作用のある生理機能成分の一種です。私の会社ではスルフオラファンを多く含む商品を製造しています。健康に寄与する研究結果を有する成分なのですが、認知度は低いまち。良い研究があっても社会に浸透しなければ意味がないと感じました。現在は営業職として日々スーパーマーケットを巡回し、当社の商品を消費者様に知ってもらう活動をしています。新型コロナウイルスの影響もあり



健康指向再熱でバタバタしています。一人でも多くの方の健康に貢献できるように活動を続け、日本を健康にすることが私の目標です。

美味しい料理を多くの人に
水産学科(平成30年度卒)
八木 稔貴

私は静岡県に本社を置く株式会社五味八珍に勤めています。五味八珍は静岡県を中心に中華ファミリーストラの経営と、餃子などの工場での食品の生産を行う会社です。

私は現在営業部に所属し、店舗で勤務しております。主な仕事は、商品の調理、オペレーション(OP)のコントロール、食材の管理、食材資材の発注などです。中でも中心になるのはOPですが、これは7人〜10人で連携して行うものですので、適切にコントロールできない場合は無駄の多いOPとなり、商品の提供が遅れてしまいお客様に迷惑をかけることになってしまいます。そのため秒単位で変化する状況やトラブルに対応する判断力と臨機応変な対応力が必要になります。これが一番難しいところであり、どうしたら無駄をなくせるのか反省しながら試行錯誤するのがこの仕事の面白いところでもあります。日々の仕事を通じてお客様に小さいながらも幸せを提供できるこの仕事を誇りに思っています。

特定保健指導の難しさ
食品栄養科(平成26年度卒)
田辺 司

私は社会医療法人愛仁会総合健康センターという健康施設に勤めています。当施設では人間ドックや一般健診などの健診業務を行っており、毎日平均して100人ほどの健診者が訪れます。そこで私は管理栄養士として特定保健指導をしています。特定保健指導の対象者は年々増加傾向にあり、去年では約2000人の人が指導の対象となりました。対象者の大半は危機感がなく、生活を改善する気が



こんにちは。大日本木材防腐(株)の浅井源二郎です。私は木造建築物の劣化対策に関する業務を行っています。主にビルダーへの劣化対策の提案と木材保存剤の販売です。木造は加工性、経済性、環境性などの優れた特徴を持ちます。また、持続可能な社会を実現する上で最も適した工法の一つです。しかし、木造は生物資源の宿命である劣化が起ります。私はこの課題を解決し、木造の長期利用につながるよう取り組んでいます。

国連でSDGsが採択されたから、世界では「持続可能な社会」と「継続的な成長」の両立という厄介な課題に取り組んでいます。これを実現するのは技術であり知識であり発想です。今、技術の進歩は加速度的に早く、産業構造や組織構造、価値というものはますます変化していきます。在学生の皆さんも自分が価値



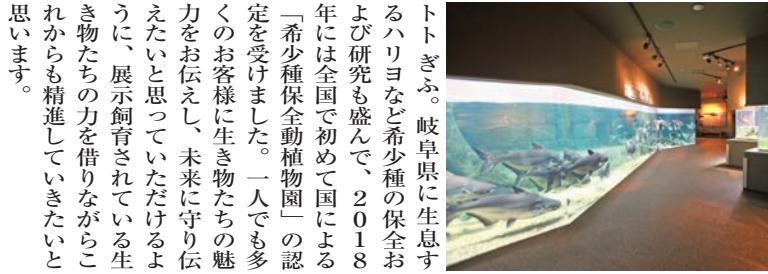
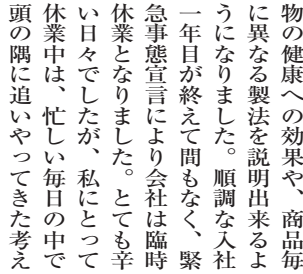
幼いころから動物が大好きで動物にかかわる仕事をしたいと思いつきました。近畿大学農学部で生物のコアな知識から環境政策まで幅広く学ぶことでその思いは一層強いのとなり、最終的にたどり着いたのは野生動物の魅力を多くの人に伝え、人と動物が無理なく共生できる社会を作る架け橋になるという夢でした。この春から私は、岐阜県にある世界淡水魚園水族館「アクア・トトぎふ」で企画広報の職に就いています。長良川を再現した空間から始まり、メコン川やメコンオオナマズやタンガニーカ湖のシクリッド類など両生爬虫類も含めた世界の淡水生物を世界最大規模で展示するアクア・

世界の淡水魚が同僚
環境管理科(平成23年度卒)
八代 彩子

笑顔でお客様に接する大切さ
バイオサイエンス学科(平成30年度卒)
田中 里奈

卒業生、在校生の皆様、そして教職員の皆様、COVID19で新しい生活様式の徹底が求められています。お過ごしでしょうか。

私は大学を卒業後、株式会社西利に入社し、祇園店で商品販売に携わっています。入社一年目は、無我夢中で働いてきました。最初の頃は、販売に悩むこともありましたが、農学部で学んだ知識とコミュニケーション力を活かして、毎日笑顔でお客様にお漬物の健康への効果や、商品毎に異なる製法を説明出来るようになった。順調な入社一年目が終わって間もなく、緊急事態宣言により会社は臨時休業となりました。とても辛い日々でしたが、私にとって休業中は、忙しい毎日の中で頭の隅に追いやられてきた考え



近畿大学校友会 食品支部 会員募集中!

— 支部概要 —

設立 平成26年6月7日
支部長 酒井 恵二
年会費 10,000円
会員数 106名 (令和2年6月3日現在)

連絡先
【事務局】
立花容器株式会社
岡山県小田郡矢掛町浅海385-1
TEL 0866-82-3300

食品支部は、食品関連産業に従事する近畿大学校友会によって組織された『母校近畿大学の発展、会員相互の親睦と学びあい、ビジネスチャンスの繋ぎ』を目的とした校友会専門職支部です。

食品メーカーだけでなく、広く全国の農林水産業・飲食・小売・流通・機械・設備・梱包資材等、食品産業全般から参加を募っております。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の影響により、活動自粛を余儀なくされるスタートとなってしまい、例年通りの活動が出来ておりません。新しい生活様式を求められる今こそ、近大校友会の相互の強い絆で新たなビジネスチャンスに繋げてゆきましょう！校友の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

写真提供：食品経済新聞

第13回例会 2019年9月24日
近大東京センターにおいて、21名のご出席頂き開催致しました。
大阪での開催の他に東京や福岡でも開催し、広く活動の輪を拡げています。

近畿大学校友会 食品支部 Facebookのご案内



在学生だより

今の思いと今後の目標

農業生産科学科
畜産学研究室4年生
永橋 果帆

4年生になった今、これまでの学生生活を振り返って、充実した毎日を通り過ぎていくと実感しています。農業分野をたくさん学び、実習にも積極的に取り組み、好きな友人たちと出逢えたことで、大学生活がより濃いものとなりました。そのため、卒業することを想像すると既にさみしい気持ちでいっぱいです。学業以外では、カフェでのアルバイトや介護施設でのインターンシップなど様々なことに挑戦しました。学生でありながら社会というものを経験することで、良い刺激と新たな発見があり、自分自身の成長に繋がったと思います。

全力ワクワク

水産学学科
水産経済学研究室3年生
森井信太郎

私は今、とにかくワクワクしています。もう何に關しても力が湧いている感覚です。コロナウイルスの影響でマイナスな感情が世の中に充満していますが、私はめちゃくちゃ前向きです。なんでやねんとツッコミをいれたい方も多いはずなので、ここまで私が前向きな理由をお話します。最近になって「若いうちにやりたいことをやるだけやっつけていい」ことに気がきました。最大の理由はこれです。昔から当たり前なことが嫌いな型破りな性格だったのですが、結局は用意されたルールを辿る量産型人間でした。そこで、これからは違うぞと意識改革をしたわけです。些細な心構えなのかもしれないですが、この初めの一歩が大きかったと数年後に言えるようにとにかく新しいことに挑戦していきたいと思っています。最近始めたプログラムその一環です。やったことないことをとことんやってやるぞって気持ちでいっぱいなんです。これからのことを考えるだけでワクワクします。



研究室での取り組み

応用生命科学科
応用微生物学研究室4年生
久野 竣矢



私は現在研究室で柿、イチジクでつくるワインの研究を行っています。もともと商品開発に興味があったため研究室分属の際にこのようなことができる場所はないかと調べたところ、奈良県の特産品である柿を使ったワインの研究をしていることを知り研究室を決めました。実際に配属されたからは知識不足や酵母を扱うことによるスケジュールの不安定さ、部活やバイト、授業との兼ね合いなど課題は多々ありました。しかし教授や先輩は相談に乗ってくださり、友人は研究の手伝いをしてくれるなど周りの方々の助力によって何とか進めることができました。今では一人で醸造出来るようになり二月の終わりには試飲会に自分で作ったワインを提出し、率直な意見を聞くことができました。今後もワインの研究をする予定なので意見を参考に改善していきたいと思っています。

大学生活を振り返って

食品栄養学
栄養教育学研究室4年生
村上 愛実

大学での一番の思い出は、「こんなにも気が合う人がいるのか」そんな友人に出会えたことです。考えていることも似ていて、価値観もほとんど一緒。夢も一緒。大学生活は決して楽なものではありませんでしたが、同じ夢を持つ

友人が隣にいてくれたことで走り続けることができました。食品栄養学は栄養を勉強したい、管理栄養士として働きたいという志が同じ仲間が集う場所です。だからその出会いたいと思えます。近畿大学に進学して良かった。そう思っています。さて、今年は新型コロナウイルスが猛威をふるい、私たちはキャンパスに立ち入ることすらできていません。本来なら今頃忙しい忙しいと言いつつも、ながらも研究や勉強にうちこみ、休憩時間は研究室の仲間達と楽しく過ごしているはずだ。今は自己管理能力を高める時期と捉えてできることから一杯取り組んでいきたいと思っています。

憧れの研究室で

環境管理学科
森林資源学研究室
本田小百合

私は森林資源学研究室に所属しています。この研究室を志望したきっかけは、1年生の終わり頃から参加している「中高大連携森林学習プロジェクト」でした。このプロジェクトは、中高生に向け大学生が出張講義などの森林教育の活動を行うというもので、当研究室の松本光朗教授が顧問を務めています。出張講義では、大学生が先生になり、森林の多面的機能に関する授業を行います。活動のために、森林の機能や管理について真剣に勉強をしました。先生や先輩方には、授業内容のための知識だけでなく、発表の方法や社会で必要なマナーまで教えていただきました。気づけば学びたいことも、憧れの先輩も、尊敬する先生も、すべて森林資源学研究室にありました。

平井先生の笑み

昭和53年度 農学科卒
森 敏記

本庶佑さんがノーベル賞を受けたニュースを当時関心深く読んでいました。3年生に上り、希望した平井篤造先生の植物病理学室の3年全員が、自分の目で納得する姿勢を大切にしたい。平井先生から初めの授業で教わった締め括りの一言に同じではないか、と。私は農学とは畑の神、別養護老人ホームで仕事をしています。解釈や課題、難題に、平井先生から学んだ「疑問を持つ目が大事」にこれまでに幾度と助けられました。

日々を過ごして

生物機能科学科
植物学専攻研究室4年生
平野 晏奈

私の大学生生活の日々は充実と言えものでした。私は吹奏楽団という団体に所属し、2年生の間は指揮者として、3年生の間は団員の一人として活動してきました。指揮者の間は団員の音楽をまとめ上げ、役員の間は演奏会の準備や委員会会議、学生支援課との交渉などを行って来ました。思い返せば、大変だった事も沢山ありましたが、仲間と共に作り上げてきた日々は今でも掛け替えのない良い思い出

緑友会名簿訂正(変更)届

氏名	所属	年度
研究室	現住所	
(〒)	(〒)	
会社名	住所	
(〒)	(〒)	
勤務先		

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273(内線2030) メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

4年生となった今、大学院進学という新たな挑戦を試みています。私がある授業を受けていた時に菌が作るほんの小さなタンパク質により植物が大きな影響を受けるということに驚き、また同時にもっと知りたいと思ひ、大学院進

大学院生だより

大学院で研究を行うにあたって
農業生産科学専攻博士前期課程
育種学研究室

前田 宜輝

私は研究をするにあたって「野望」をもつことが重要であると考えています。少し大げさな言葉に聞こえますが、自分の叶えたいこと、成し遂げたいことに対して、それだけの熱量を注ぐことが出来るかというのは、結果を残す上で重要です。



挑戦と成長
農学研究科水産学専攻博士前期課程
海棲哺乳類学研究室

八木 原風



研究を今後の人生に活かす
農学研究科衛生学専攻博士前期課程
食品微生物工学研究室

木村 遼太



私は、天下統一を成し遂げたいわけでも、ノーベル賞を取りたいわけでもありません。しかし、自分の研究に関しては、世界中の誰よりきつと自分自身が一番詳しいというようなプライドを持つことが大事だと感じています。自分の研究が少しでも前進するように自ら考えて行動する。考えることは凡人にとって最大の武器です。今、何が必要なのかを考えて、行動に移す。失敗しても、その経験と過程が重要です。トライ&エラーが良い経験になるといっても、実際に体感しないとわからないものではないです。大学院での日々の生活は、知識を得るだけでなく、自分自身を成長させてくれる良い場になっています。

私はミナミハンドウイルカの腹部に現れる斑点模様について加齢に伴う変化を調べています。担当教員の専門分野とは異なるため壁にぶつかっていた時には先が見えないこともありましたが自身で考えた研究テーマに取り組めることは私にとってこれ以上ない喜びです。昨年度は担当教員が背中を押してくれたことや前の担当教員や共著者の助けもあり国際学会での卒論内容の発表やシンポジウム・国内学会で修論の内容を発表することができました。自身の好奇心に基づく研究を応援して頂ける環境だからこそ、研究へのやる気も非常に高く維持できており現在ではIF付き海外科学雑誌に論文を投稿するため執筆作業に取り組んでいます。これらの挑戦と経験を通過して、研究発表や他の研究者と繋がることができ、成長できたことを実感しております。担当教員をはじめ、昨年度お世話になった方々に感謝するとともに今年度も様々なことに挑戦したいと思えます。

私は現在、米に含まれるタンパク質について研究活動を行っています。このタンパク質は食物繊維の作用も持っており、健康維持に期待されているタンパク質です。品種や条件など状況によって摂取量が変わるため、よりたくさん摂取できる条件を検討しています。普段ならば、今日も研究活動を行っていると思えますが、私は自宅待機をしています。一日でも早く研究したいと思っていますが、この緊急事態は私に七難八苦を与えられたのだと思ひ、今後の研究や人生において活かされるよう毎日、生活しています。いっかこの事態が収まり、研究に努められた時、頑張りたいと思えます。



私は、絶滅危惧種の淡水魚であるニッポンバラタナゴについての課題に取り組んでいます。ニッポンバラタナゴは、ベタと平な形をして、繁殖期にオスの体がキンギョのように赤くなることから、奈良では「ベタキン」と呼ばれていました。私たちも保護活動において多くの人たちに親しみを持ってもらうために、ベタキンと呼んでいます。保護活動は長期継続的であることが必要ですが、活動のコストがそれを困難なものにしています。現在、NPO、企業、行政といった様々な組織と連携した保護活動を行っており、それぞれでコストを上回るメリットを創出し、活動を持続させる仕組みを構築することが私の取組む課題です。ベタキンとその生態系に加え、人間社会の環境全てが私の課題の対象です。現代における生きものや人間の新しい共生の仕組みを生み出すという壮大なテーマとなりますが、多くの人の交流を楽しみながら、一杯、課題解決に取り組んでいきます。

私は、学部生の時にスマートフォンが用いられていることを知り、有機合成化学の分野は生活水準の向上に寄与するところが大いことが分かってきました。また興味深い挙動を示す化学反応に好奇心が刺激され、それについて学ぶことは自分にとって成長できるものだと考えるようになりました。そのため、有機合成化学という分野を学びたいと思ひ生物有機化学研究室に所属することを決めました。研究室では、学部生の間には様々なことを学びましたが、特に目標とする化合物の合成を達成するまでに直面する困難を乗り越えていく技術的要素と、その際に焦る気持ちを抑えながら前進する精神的要素を学べたことが私にとって一番の成長になったと感じました。そこで私は研究をより高いレベルで深く追求すること、すべての要素を向上させたいと思ひ、大学院に進学することを決意しました。コロナウイルスの影響により、未だ満足できる研究活動ができない状況ですが、こういう状況だからこそできる勉強を行っています。研究活動が再開した時には自身の実力を向上させるために精進していこうと考えています。

私は、学部生の時にスマートフォンが用いられていることを知り、有機合成化学の分野は生活水準の向上に寄与するところが大いことが分かってきました。また興味深い挙動を示す化学反応に好奇心が刺激され、それについて学ぶことは自分にとって成長できるものだと考えるようになりました。そのため、有機合成化学という分野を学びたいと思ひ生物有機化学研究室に所属することを決めました。研究室では、学部生の間には様々なことを学びましたが、特に目標とする化合物の合成を達成するまでに直面する困難を乗り越えていく技術的要素と、その際に焦る気持ちを抑えながら前進する精神的要素を学べたことが私にとって一番の成長になったと感じました。そこで私は研究をより高いレベルで深く追求すること、すべての要素を向上させたいと思ひ、大学院に進学することを決意しました。コロナウイルスの影響により、未だ満足できる研究活動ができない状況ですが、こういう状況だからこそできる勉強を行っています。研究活動が再開した時には自身の実力を向上させるために精進していこうと考えています。

緑友会会報原稿募集のお願い
緑友会会報は、同窓生の皆様を結びつける年に一度の会報です。できるだけたくさんの方からの寄稿をお待ちしています。原稿の形式は特に問いません。お気軽にお寄せいただければ幸いです。緑友会事務局又は、研究室の先生宛にご送付下さい。

連絡先：近畿大学農学部 緑友会事務局
〒631-8505 奈良市中町3327-204
電話 0742-43-7273 (内線2030)
メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

現在生きている人にとって、新型コロナウイルスは、未だかつてない経験です。わずか数か月のうちに新型コロナウイルスの影響は世界中に広がり、多くの人々が苦しい状況下にあります。そんな状況にある今こそ、大きなことはできないけれど、少しは誰かのために役に立つことをしたいと強く思い、自分のため、データを出すためだけでなく、自分の研究が人の役に立つことを目標に研究に取り組もうと考えるようになりました。大学院では、香料に含まれる糖質分解酵素阻害物質に焦点を当てた研究に取り組んでいます。大学院に進学し、研究テーマが変わったことで失敗することや壁にぶつかるとも多のですが、先生方や研究室の友人たちに日々助けられながら日々学びのある研究生活を送っています。卒業まで残り一年を切り、大学院生として研究に励むことができる期間も残り僅かになりましたが、学んだことを人のため、社会のために生かせるように、より一層研究を頑張りたいと思えます。

私は、学部生の時にスマートフォンが用いられていることを知り、有機合成化学の分野は生活水準の向上に寄与するところが大いことが分かってきました。また興味深い挙動を示す化学反応に好奇心が刺激され、それについて学ぶことは自分にとって成長できるものだと考えるようになりました。そのため、有機合成化学という分野を学びたいと思ひ生物有機化学研究室に所属することを決めました。研究室では、学部生の間には様々なことを学びましたが、特に目標とする化合物の合成を達成するまでに直面する困難を乗り越えていく技術的要素と、その際に焦る気持ちを抑えながら前進する精神的要素を学べたことが私にとって一番の成長になったと感じました。そこで私は研究をより高いレベルで深く追求すること、すべての要素を向上させたいと思ひ、大学院に進学することを決意しました。コロナウイルスの影響により、未だ満足できる研究活動ができない状況ですが、こういう状況だからこそできる勉強を行っています。研究活動が再開した時には自身の実力を向上させるために精進していこうと考えています。

私は、学部生の時にスマートフォンが用いられていることを知り、有機合成化学の分野は生活水準の向上に寄与するところが大いことが分かってきました。また興味深い挙動を示す化学反応に好奇心が刺激され、それについて学ぶことは自分にとって成長できるものだと考えるようになりました。そのため、有機合成化学という分野を学びたいと思ひ生物有機化学研究室に所属することを決めました。研究室では、学部生の間には様々なことを学びましたが、特に目標とする化合物の合成を達成するまでに直面する困難を乗り越えていく技術的要素と、その際に焦る気持ちを抑えながら前進する精神的要素を学べたことが私にとって一番の成長になったと感じました。そこで私は研究をより高いレベルで深く追求すること、すべての要素を向上させたいと思ひ、大学院に進学することを決意しました。コロナウイルスの影響により、未だ満足できる研究活動ができない状況ですが、こういう状況だからこそできる勉強を行っています。研究活動が再開した時には自身の実力を向上させるために精進していこうと考えています。

近畿大学農学部園芸研究会は、令和元年11月17日(日)にシエラトンホテル大阪において盛大に60周年記念式典を開催いたしました。当日は、OBと現役生102名に加え、歴代部長である藤田先生にもご臨席賜りました。式典では、10年前に開催された50周年記念行事から10年か時間の過ぎることの早さを実感すると共に、この10年で新たにOBとなった方との昔話にも花が咲きました。今回も世代を超えたOB諸氏の園研への想いがひしひしと伝わる時間を参加者で共有することが出来ました。園研OB会は、この先も延々と続いていくものですから、今回参加が叶わなかった方も、いつの日か学生時代を共に園研で過ごされた方と昔話に花を咲かせ、現役生の話に耳を傾け、園研の先輩にとどまらず人生の先輩として後輩にアドバイスを頂ければ幸いです。卒業生の皆様には、今後ともより一層のご協力とご支援をお願いいたします。



人はために何が出来るか
農学研究科博士前期課程
栄養機能学研究室
北山 雄大

人と自然の新しい共生の形
環境管理科学専攻博士前期課程
水圏生態学研究室
駒井 藍

大学院での飛躍
バイオサイエンス専攻博士前期課程
生物有機化学研究室
西川 晃弘

近畿大学農学部園芸研究会は、令和元年11月17日(日)にシエラトンホテル大阪において盛大に60周年記念式典を開催いたしました。当日は、OBと現役生102名に加え、歴代部長である藤田先生にもご臨席賜りました。式典では、10年前に開催された50周年記念行事から10年か時間の過ぎることの早さを実感すると共に、この10年で新たにOBとなった方との昔話にも花が咲きました。今回も世代を超えたOB諸氏の園研への想いがひしひしと伝わる時間を参加者で共有することが出来ました。園研OB会は、この先も延々と続いていくものですから、今回参加が叶わなかった方も、いつの日か学生時代を共に園研で過ごされた方と昔話に花を咲かせ、現役生の話に耳を傾け、園研の先輩にとどまらず人生の先輩として後輩にアドバイスを頂ければ幸いです。卒業生の皆様には、今後ともより一層のご協力とご支援をお願いいたします。

近畿大学農学部園芸研究会
60周年記念式典開催
〜令和元年11月17日(日)〜
また、園研50周年を記念して農学部キャンパス内、園研圃場近くに植樹したイチョウも10年を経て、ずいぶん大きくなりました。農学部 nara.kindai.ac.jp へ連絡頂ければ幸いです。



第1回緑友会ゴルフコンペ
加茂カントリークラブ
令和元年9月1日



第2回緑友会ゴルフコンペ
東城陽ゴルフ倶楽部
令和2年3月1日



第1回緑友会ゴルフコンペ表彰式
村上会長、西原幹事
第1回優勝 谷村俊和さん
(昭和60年食栄卒)

会長は元緑友会会長の村上先生、運営委員会幹事は現緑友会副会長の西原氏、運営委員会事務局は農学部農産学産科学科植物感染制御工学研究室です。

緑友会ゴルフ愛好会を立ち上げました。

腕に自信のある方、初めてラウンドされる方、大歓迎です。
ymatsuda@narakindai.jp
お待ちしております。
(担当 松田)

令和元年11月3日(日)に食品栄養学科卒業生で構成される「KINKAN会」のイベントを開催致しました。今回はKINKAN会イベント第10回の節目の年を迎え、記念回と称して、これまで本学食品栄養学科に携わってくださった恩師の先生方をお招きし、総勢約100名の「大同窓会」をおこないました。懐かしい同級生や先輩・後輩、そして恩師の先生方との思い出話に花を咲かせ、和気あいあいとした和やかな会となりました。数名のグループに分かれ、ミニ交流会も実施し、これまで接点のなかった卒業生との交流も深めることができました。様々な場所で管理栄養士として活躍される卒業生たちが、それぞれのもつ知識や経験など、情報共有の場としても大変有意義な時間となりました。



第10回KINKAN会 イベントを終えて 15期生 安岡美穂

お忙しい中、ご参加下さった恩師の先生方、卒業生の皆様、誠に有難うございました。今後もKINKAN会イベント開催の詳細については、各期の運営委員より随時ご連絡致しますので、皆様ぜひともご参加ください。

農学部祭の案内

今年も恒例となりました「農学部祭・飛鳥祭」の季節がやってきました。今年の農学部祭は11月1(日)から3日(火)の3日間開催する予定です。農学部祭の構成としては初日は在校生のみが参加する体育祭が行われ、2日、3日目は一般の方も楽しめる文化祭が行われるという形になっています。昨年は近大マグロの解体ショーが行われ、今話題の近大マグロが無料で試食できるとあって多くの方々にお越しいただきました。その他にも、御家族で楽しめるヒーローショーやお笑い芸人のライブ、各研究会系クラブ団体の展示会や部活や研究室で出店する模擬店など各種イベントが目白押しになっておりました。現在農学部祭実行委員会では農学部祭に向け活動しています。農学部祭の象徴である凱旋門や巨大壁画の制作やステージ企画の考案に取り組み、手作り感溢れる農学部祭にすべく日々努力しています。コロナウイルスの感染防止対策によりこれまでの農学部祭とは異なるものになる可能性がありますが、地に足をつけて大空に羽ばたき、卒業生の皆様方や地域住民の方々、在校生全員に誇れる催しにするという意味を込めた「翔」をテーマに農学部祭実行委員会が中心となり農学部生一丸となって作り上げていこうと思います。当日の皆様方のお越しを学生一同心よりお待ちしております。コロナウイルスの影響で農学部祭の縮小、中止等の場合がございますので詳細につきましてはHPをご覧ください。

本年11月に近畿大学農学部緑友会第10回総会・懇親会を開催いたします。

近畿大学農学部卒業のみなさまも、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。みなさまの母校農学部も、ここ最近の近畿大学の発展に大きく寄与しております。社会人となった卒業生の中には、近大農学部OBのつながりをビジネスに活かして活躍の方も大勢いらっしゃいます。緑友会は、近畿大学農学部とその卒業生と共に歩んで参りました。その設立から20年以上が経ち、このたび近畿大学農学部緑友会第10回総会(平成29～令和元年度事業報告・収支決算報告ならびに令和2～4年度事業計画・予算・人事案)を、令和2年11月3日(祝)正午より近畿大学農学部にて開催いたします。総会終了後には、懇親会を開催いたします。この懇親の場は、卒業生同士の情報交換・交流の場でもあります。この機会を是非ご活用頂き、新たなつながりが生まれることを期待しております。懇親会には、現役教員も参加いたしますので、大学と社会のつながりにも貢献できるのではないかと期待しております。ビジネスのみならず、この機会を同窓生との会合の場として利用頂いても良いかと思っております。総会開催当日は農学部祭が催されておりますので、ご家族お揃いでお越し頂いても楽しめると思います。ぜひ多くの卒業生みなさまの参加をお願い申し上げます。現在、緑友会は、会員から納付頂いた1万円の終身会費で運営されております。終身会費が未納である諸先輩方は、総会受付でも納入して頂けますので、是非この機会に納金をお願いいたします。準備の都合上、電子メール(ryokujimu@nara.kindai.ac.jp)または電話(0742-43-7273(内線2030):直通)にて出席のご一報を頂ければ幸いです。今後の社会情勢によっては中止させて頂く場合がございます。その際は随時ホームページにてお知らせいたします。

訃報

元農学科 教授 衣川堅二郎先生がご逝去されました。(令和元年六月)元水産学科 准教授 来田秀雄先生がご逝去されました。(令和元年八月)元食品栄養学科 特任教授 嶋林幸英先生がご逝去されました。(令和元年二月)ご冥福をお祈りいたします。

緑友会へのご寄付お願い

このたび緑友会は、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与などの緑友会活動のさらなる活動充実の為の原資として卒業生のみなさまに寄付をお願いする次第です。経済状況が厳しい折に誠に恐縮でございますが、緑友会の現状をご理解頂き、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお寄付金は一口5,000円とさせて頂き、お一人様の上限はございません。お振り込みの際には、氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますようお願い申し上げます。(お手数ですが、お振り込み後にお電話またはメールで、ご住所、お名前、卒業年度をお知らせ頂ければ幸いです)

〇振込口座〇 三菱UFJ銀行 富雄出張所 普通 3574857 近畿大学農学部 緑友会

〇連絡先〇 近畿大学農学部 緑友会事務局 電話 0742-43-7273 (2030) E-mail ryokujim@nara.kindai.ac.jp

今後も会員相互の親睦を深め母校の発展に寄与して参りたいと考えております。どうかご支援賜りますようお願い申し上げます。(注)公開をご希望されない方については、掲載しておりません

令和元年度近畿大学農学部緑友会事業報告			令和元年度近畿大学農学部緑友会決算 <卒業者部会> (単位:円)		
月日	項目	場所	収入の部	支出の部	
4月9日	運営委員会	第1会議室	前年度繰越金 6,206,908	郵便費	1,498,512
5月14日	終身会費納付書発送(753通)		終身会費(遅延2名分) 20,000	印刷複写費	1,509,508
6月8日	幹事会	第1会議室	終身会費 4,620,000	会議会合費	81,688
	1)平成30年度事業報告		広告掲載料 80,000	人件費	1,029,197
	2)平成30年度決算報告		会報印刷・郵送代の負担金 277,000	緑友会賞	130,000
	3)令和元年度事業計画(案)		(学生部会より在学生分)	雑費	155,950
	4)令和元年度予算(案)		寄付金(卒業生より) 20,000	支出の部計	4,404,855
8月23日	終身会費納付書2回目発送(485通)		利息 58	次年度繰越金	6,819,111
8月27日	在学生名簿調査完了		合計 11,223,966	合計	11,223,966
9月1日	第1回緑友会ゴルフコンペ	加茂カントリークラブ	会計幹事 上田茂登子 会計幹事 武田 徹		
9月13日	会報第24号会員へ発送		上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。		
令和2年			令和2年3月31日		
1月7日	終身会費納付書3回目発送(344通)		監事 小林 徹		
2月7日	終身会費未納者を6学科に通知		監事 谷 哲弥		
3月1日	第2回緑友会ゴルフコンペ	東城陽ゴルフ倶楽部			
3月3日	委員会	C会議室			
3月19日	緑友会賞授与				